

4 市町村の家計簿

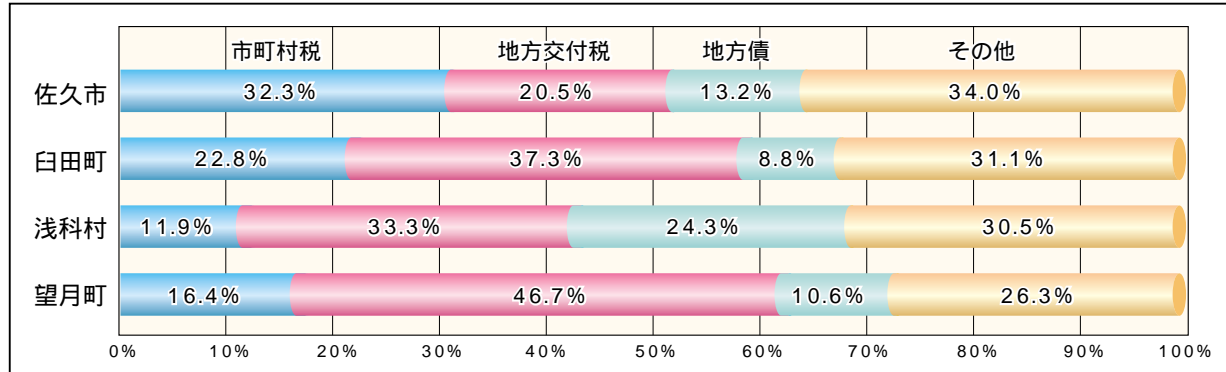
～ 地方交付税編 ～

今回は、国から交付される地方交付税の状況についてお知らせします。

● 4 市町村の歳入決算額(平成 14 年度普通会計)

佐久市	臼田町	浅科村	望月町
269 億 4,400 万円	61 億 4,000 万円	46 億 200 万円	58 億 4,900 万円

● 4 市町村の財源構成をみましょう。



4 市町村とも国からの地方交付税が、重要な財源のひとつです。地方交付税の歳入に占める割合が大きい程、国の動向によって大きな影響を受けることになります。

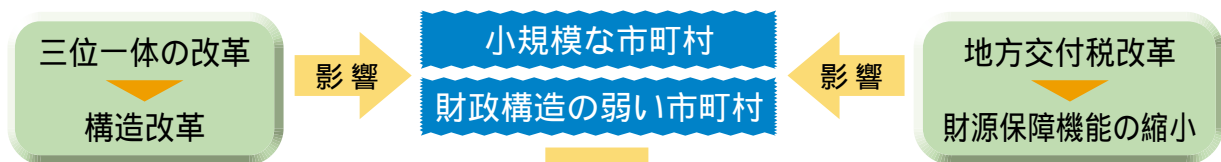
● 4 市町村の普通地方交付税の推移はどうでしょうか。

(単位：百万円)

市町村名	平成 12 年		平成 13 年		平成 14 年		平成 15 年	
	交付税額	対前年	交付税額	対前年	交付税額	対前年	交付税額	対前年
佐久市	5,607	△ 251	5,356	△ 557	4,799	△ 197	4,996	△ 177
臼田町	2,425	△ 210	2,215	△ 37	2,164	△ 155	1,987	△ 122
浅科村	1,482	△ 29	1,443		1,406		1,251	
望月町	2,724		2,695		2,492		2,380	

財政規模が小さければ、減少額が少なくても、市町村財政の受ける影響は大きくなります。

地方交付税は減少傾向ですが、これは国の「構造改革基本方針」によるもので、地方交付税・補助金の削減及び国から地方に税源を移譲するという、いわゆる「三位一体の改革」が大きく影響しています。



これから、更に厳しい時代へ

将来の市町村の財政を考える場合、交付税や補助金が大きく減少することを見込まなければなりません。

市町村合併を、財政という観点だけで判断することはできません。しかし、市町村の行政サービスを具体化するものは財政であり、市町村の財政運営の見通しが重要になります。

合併は、市町村の“行財政の効率化”を図る手段の一つです。